



“校則見直し”について

熊本市では令和3年度から小中高校で「校則見直し」を毎年度行っています。若葉小でも、今年度も校則について子どもたちと考える時間をとり、話し合いを行いました。

この目的は、「自分たちの決まりは、自分たちでつくって、自分たちで守るという民主主義の基本を身につけながら、自ら判断し、行動できる児童生徒を育成すること」とされています。

自分の意見を伝えながら、他者の意見を聞くと、新しい考えや価値観にも出会い、自分の考えを見直したり、変わったりすることがあります。また、自分の意見が通らないことがあっても、折り合いをつけることも学んでいきます。子どもたちの中に、「自分たちで決めた校則だ」という意識や納得感も高まっていくと思います。

今年度は、12月に現在の「若葉っこのくらし」を全員で見直し、話し合いの点を挙げていきました。それを児童会(5・6年生の代表)や生徒指導や人権教育の先生たちで整理して、2つに絞りました。それを改めて、計画委員会が中心となり、各学級で話し合いを進めてもらうように提案しています。1年生もしっかり話し合っ、意見を出してくれています。

そして、今週の13日、14日の朝自習の時間に、代表委員会(4年生以上の代表と各委員会の委員長が出席する会)を開き、子どもたちの意見をまとめていきました。

この後2月21日(金)のお昼休みを活用して、保護者代表の方々も交えて、意見交流をする予定です。



全校児童からの意見を丁寧に見ながら考えている代表の子どもたち



考えた意見を出し合う様子

長なわ大会～高学年編～

10日(月)は、高学年の大会がお昼休みに行われました。その日は、朝からも必死に練習する5、6年生の姿が見られました。

いよいよ本番。緊張する中、縄を回すスピードも速く、見ているこちらも思わず、力が入ります。3分間があっという間に過ぎます。

体育委員会の人たちの集計を静かに待つ5、6年生。「優勝は、229回の6年1組です。」に大きな歓声が上がりました。どの学級も本当に一生懸命に取り組んでいました。



～低学年編～

12日(水)のお昼休みは低学年の長なわ大会でした。1年生もお昼休みに一生懸命練習していました。1年生も2年生も目標回数に向けて、本番も1回1回を丁寧に跳んでいました。

どの学年もみんなで声をかけ合いながら、1つのことに取り組む楽しさを味わっている様子を見て、嬉しく思いました。



体育委員会からの結果を緊張しながら聞く1年生